

地域連携センター Newsletter

ごあいさつ

【県民健康科学大学との協働】

群馬県健康福祉部長 塚越日出夫



県民健康科学大学地域連携センターは、大学の第3の機能である“地域貢献”を進めるため、大学と地域を結ぶ窓口となり、大学が有する教育・研究の成果を、県民や保健医療専門職、行政などに広く還元してきました。

健康福祉行政が抱える諸課題に対し、大学の教育・研究成果や大学が持つノウハウを活かした取組を進めることにより行政効果を一層高めることを目的に、昨年度から、両者の協働を進めるための意見交換の場を設置しています。その結果、群馬県看護教員継続教育プログラムの開発等について連携が進んでいるところであります。

現在、我が国では持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革が進められており、県民の健康の維持増進、生活の質の向上はもとより、医療費の適正化や社会保障給付費の抑制にも繋がる「健康寿命の延伸」は、県政の重要

課題となっています。健康づくり対策の展開に当たっては、科学的根拠に基づいた取組が重要であります。保健医療のビッグデータを活用した課題分析や分析結果に応じた実践プログラムの開発・実践、データに基づく評価を通じた対策を進めて行く上で、県民健康科学大学との協働が不可欠と考えております。

2018年問題*など大学を取り巻く環境が厳しさを増す中、県民健康科学大学は、平成30年度から公立大学法人に移行します。このような中、地域から信頼され、魅力ある大学となるには、教育・研究のさらなる充実とともに、「地域貢献」、「行政との協働」が大きなポイントになると考えております。より一層の取組を期待申し上げます。

*18歳の人口が2018年頃から減り始め、大学進学者が減少し続ける問題

活動報告

【健康福祉政策事業】

看護学部教授 巴山玉蓮

本事業は平成27年度に設置された新しい事業分野であり、群馬県の保健医療施策について行政機関と大学が意見交換を行い、連携を通して県民の健康福祉に寄与することを目指しています。初めに取り組んだ事業は、「群馬県看護教員継続教育プログラムの開発」と「群馬県保健所等におけるX線発生装置の精度管理」であり、医務課及び保健予防課と連携しています。

平成28年度は、新たに介護高齢課と連携し、「認知症サポーター養成に係る教材開発」を目指し鋭意活動しており、本学と県行政各部署との連携を一層進めた年となりました。



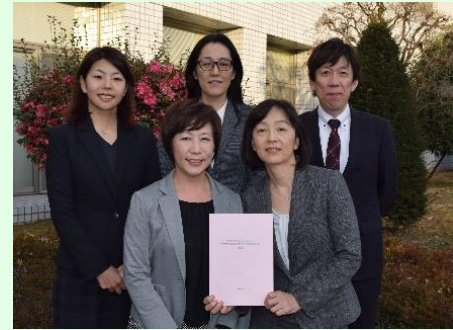
健康福祉政策事業担当教員

【群馬県看護教員継続教育プログラム開発プロジェクト】

看護学部准教授 岩波浩美

看護師等養成所の教員の多くが、自己研鑽に熱心に取り組んでいます。教員の努力が、学生への教育はもちろん、将来の質の高い看護につながると信じるからです。しかし、研修受講の機会は少なく、主催するにも企画が難しい現状がありました。そこで群馬県と本学は、可能な限り効率的、効果的な研修を提供することをめざし、このプロジェクトを発足しました。

看護師等養成所の先生方にも参加いただき、調査結果を様々な角度から検討して立案できたプログラムは、教員の要望の高い内容を中心に、経験や役職に応じた12種類の研修から成り立っています。これを基にすれば、主催者は計画的に研修を企画でき、受講者は効率よく系統だった学習ができる、という仕組みです。報告書にまとめましたので、すぐにも活用いただけます。今後、このプログラムが教育の質向上に貢献することを願ってやみません。



プロジェクト担当教員と院生の湯澤さん

学生による地域貢献活動

【学生ボランティア活動講演会】

11月28日に本学において学生ボランティア活動講演会が行われました。

学生としてボランティアをすること 看護学部4年 武井千草

大学に入るまでボランティアを一度もしたことがなかった私がボランティアをしてみて感じた、ボランティアの魅力。それは、たくさんの出会いがあること、してあげるのではなく一緒にするという、勇気づけられ考えさせられること、たくさんの経験ができること。なにかしなくちゃではなく、なにかしてみよう！から新しい自分が見つかる。ボランティアは素敵なものです。



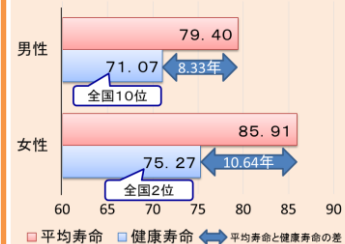
健科大ぐんまちゃんの健康アドバイス



群馬県では**健康寿命**(健康に問題なく日常生活を過ごせる期間)の延伸県民運動「**ぐんま元気(GENKI)の5か条**」を制定しています。5か条を実践し、いつまでも元気に暮らしましょう！

- 第1条 G げんき(元気)に動いて ぐっすり睡眠
- 第2条 E えんぶん(塩分)ひかえて 食事はバランスよく
- 第3条 N なかま(仲間)をつくって 健康づくり
- 第4条 K きんえん(禁煙)めざして お酒は適度に
- 第5条 I いいは(歯)を保って いつも笑顔

群馬県の平均寿命と健康寿命(平成22年)



出典:群馬県健康増進計画「元気県ぐんま21(第2次)」第3章掲載データ

Kenkadai A to Z

■EMBLEM: 大学の校章

本学の校章は、群馬県の頭文字Gを基本に、平和の象徴である鳩の横顔を想起させるとともに、中央のラインが県内を流れる清流を表現しています。

4つの頭文字は本学の英語表記 **GUNMA PREFECTURAL COLLEGE OF HEALTH SCIENCES**の略です。

お知らせ

共同研究・若手研究発表会

看護学部および診療放射線学部の本学教員による研究成果の発表会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】平成29年3月16日(木)午後 【対象者】群馬県内で従事する保健医療関係職の方
※詳細は、本学ホームページでお知らせします。